

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| V. サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|----------------|
| 事業所名 | ガーデンコート千葉さつきが丘 |
| (ユニット名) | ユニット② |
| 所在地 (県・市町村名) | 千葉県千葉市花見川区畑町73 |
| 記入者名 (管理者) | 加賀美 範郎 |
| 記入日 | 平成 20年 9月 13日 |

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) | |
|--------------------|---|---|----------------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | <p>スローガンに「自分の親を入居させたいホームにしよう」を掲げ、入所後も家族を初め友人等、行き来し易い施設を心掛けています。</p> | ○ | スローガンをホーム内各所に掲示している。 |
| 2 | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | <p>毎日の申し送りやミーティング等で職員各位確認しています。</p> | ○ | 職員一人一人がこの施設を作っていく事を常に啓発しています。 |
| 3 | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p> | <p>運営推進会議や毎月発行の「ガーデンコート通信」を配布して閉鎖的な施設ではなく理解と協力を頂ける様な努力をしております。</p> | ○ | もっと地域の行事や清掃等に利用者様と共に参加して交流を深めたいと思っております。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | |
| 4 | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>清掃や散歩の時等利用者や外出した時に近所の方や商店街の方に挨拶をして顔見知りになって頂く努力をしています。</p> | ○ | やっとな隣の方々からの挨拶や立ち話し等、なじみの関係が出来つつあると感じています。 |
| 5 | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | <p>地域開催の盆踊りへの参加や近隣小学校の運動会への参加等又、ホーム内での開催の納涼祭等に声を掛けさせて頂いたり、努力しております。</p> | ○ | 行事の際に地域のボランティア様に大正琴やコーラス、ダンス等披露して頂き交流を深めており今後も続けて行こうと考えております。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|------|-------------------------------------|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 今後の課題であり、まだ出来ていない。 | ○ | 運営推進会議を通して出来る事から実行して行きたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | さらなるサービスの質の向上を目指し外部評価の重要性は理解しております。 | ○ | 今回で2度目となり前回の指摘事項が改善されているか評価頂きたい。 |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者様の生活を確認して頂いたり、毎月開催の行事の報告や前回の外部評価の内容はすべて報告してサービスの向上に活かしております。 | ○ | 会議参加者のさらなる増員と内容を発展的に深められる努力をしております。 |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 今後もガーデンコート通信を配布したり定期的に訪問等、交流を深め積極的に意見を取り入れたいと思っています。 | ○ | 今後も市内6ヶ所の区役所と連携して行きます。 |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 制度は理解しており一名の利用者様が入居にあたり活用しています。 | ○ | 今後共必要性のある利用者様へは、活用して行きたいと思えます。 |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | インターネットや介護雑誌から資料を職員に配布し、入浴時外傷が無いかに注意しています。 | ○ | 管理者が身体拘束廃止専門課程を修了しており、日々啓蒙している。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入居前にホームを見学して頂きホームの特色の説明に時間をかけ、必ず他のグループホームを見学して頂く様に話し、不安をクリアして契約に至っています。</p> | <p>○</p> <p>今後も分かり易く十分説明してから理解、納得を図って行きます。</p> |
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>毎月2名の介護相談員が来訪し利用者や職員の意見等、管理者への風通しを良くしています。</p> | <p>○</p> <p>今後も介護相談員の受け入れを継続して行きます。</p> |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>毎月発行の「ガーデンコート通信」にてその月の行事や生活の写真を配布しております。</p> | <p>○</p> <p>今後も継続して行きます。</p> |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>御意見箱を設置したり、重要事項説明書の中にも受付窓口の担当者が明記したりして、家族からは気軽に話して頂ける様にしております。</p> | <p>○</p> <p>さらなる「意見箱」の改善をして行きます。</p> |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>ミーティングだけではなく普段の業務中でも意見を出せる様にしております。</p> | <p>○</p> <p>今後も継続して行きます。</p> |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>利用者様へ混乱を与えない様に、又、職員に無理をさせない様調整しています。</p> | <p>○</p> <p>今後も継続して行きます。</p> |
| 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>出来る限り発生し無い様に職員への個人面接を3ヶ月に一度行なっている。又、離職後もホームへ遊びに来ていた方が多く利用者の不安を最小限に努力しています。</p> | <p>○</p> <p>今後も継続して行きます。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 年間の行事計画に職員のスキルUP研修があり計画に沿って実施している。 | ○ もっと積極的に社外の研修への参加を増やしたい。 |
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協会や連絡会に加盟し地域の会議等に参加している。 | ○ さらなる相互訪問を増やしたい。 |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 業務終了後食事をしたり、業務中や終了後も職員と会話する努力をしています。 | ○ 今後も職員とのコミュニケーションは欠かさない様に行きたいと考えております。 |
| 22 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 管理者主導にて助言、指導等を行なっています。専門職としての自覚が薄れない様に努め評価している。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 入居の可否は本人の希望を確認した上で決定している。家族からも困っている事を相談している。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 初回面接時の書面や問い合わせから入居までの過程で時間をかけて相談しています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|------|--|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 利用者が最も望んでいる生活が出来る様に情報提供を行なっている。 | ○ | 問い合わせから本人面談の流れの中でニーズの把握を取っています。 |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人の状況によっては入居まで数回訪問やホームへ遊びに来訪して頂いたり、又、体験入居から本契約を頂いた利用者もおります。 | ○ | 利用者のペースで行なっていきます。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 食事の準備を一緒にしたり食事のメニューを利用者と決めたり、一緒に生活しているという意識で生活しています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 来訪時には、職員が自ら家族と会話する様になっています。ケアに関する不安や希望等を聞いています。 | ○ | 家族の協力無しでグループホームは成り立ちません。今後も家族との接点を多く取って行きます。 |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 職員はあくまで中立な立場に立ち不和の家族があれば関係改善の糸口を探しつつ支援しています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 電話や手紙はもちろんホームへは、誰でもライホウ出来る様にしている為友人な方達も気軽に来訪されています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 皆で散歩に行ったり洗濯物や掃除を一緒に行なって共同作業をしています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------|-------------------------------------|
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 自宅へ戻られた利用者もあり、ケアについて相談を受けています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 定期的なモニタリングをして本人の意向を第一に介護計画を作成しています。訴えの少ない利用者様にも時間をかけ希望を表明して頂いております。 | ○ | 今後もニーズに柔軟な対応が出来る様に支援して行きたいと考えております。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 初回面談時にアセスメントして書面に残し職員各位が共有しています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 介護記録や申し送り等で職員全員が把握しています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ミーティング等でアイデア等が出た時は、家族に提案したり、ご家族来訪時の際や電話にて近況報告をし、場合によっては主治医を交えたカンファレンスを行なっております。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 本人に変化があった場合は、随時、期間に応じて主治医、ケアマネ、家族と相談してプランの見直しを行なっています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|---|------|------------------------------------|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人記録や日誌に記録として残し日々の申し送り等で情報の共有を図り、プランに活かしています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 同法人のグループホームの利用者様と交流したり空きスペースを活用しています。自宅へ戻られた利用者様へは、訪問介護等の紹介等相談しております。 | ○ | 今後もニーズに柔軟な対応が出来る様に支援して行きたいと考えています。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | ボランティアにてコーラスや尺八の会の演奏、又、中学生の介護実習の受け入れを行なっています。 | ○ | もっと地域に根ざした開放的なホームとして行きたいと考えております。 |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 他事業所のケアマネジャーや地域包括支援センターの方々への相談を行なっています。(特養の予約等) | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議にも参加して頂いており相談に乗って頂いています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホームの主治医とは別に本人の今までのかかりつけ医への通院されている利用者もおりますが、提携医療機関(主治医)とは利用者の小さな体調不良に電話で相談して適切な指示を頂いたりしています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|--|------|-----------------------------------|
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 家族が中心となり受診される事が多いですが、直接電話で現状の相談をしたり薬の服薬の指示を頂いたりしております。 | ○ | 家族と一緒にこれからも継続して行きます。 |
| 45 | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | ホームの主治医の看護師により食事の事や利用者様の対応方法等を相談しています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 見舞いに行った時など医師や看護師、家族と早期退院に向けた話し合いをしています。 | ○ | |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | まだその様な利用者様は居ません。 | ○ | 家族、職員にも等ホームは終身ケアである事を周知しています。 |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 終身ケアである事を伝え、(職員、主治医)その様な事が起こったら対処出来る様に話しています。 | ○ | まだその様な利用者は居ませんがターミナルケアを視野に入れています。 |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 自宅へ戻られた利用者様がおり、ケアについて連絡をしています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|----------------------------------|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員全員が個人情報保護の契約書を取り交わしている。声かけはゆったり優しい口調で話し掛け明るく、話しかける様心掛けている。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 遠慮しすぎる方もいますので、特に気を配り、コミュニケーションを取っています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 昼夜逆転等、生活のリズムが崩れない様留意しつつ、起床から就寝まで可能な限り本人ペースで過ごして頂いております。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 入居前から通っている美容院へ行かれる利用者も居ます。衣服等も職員同行で一緒に買い物に行っています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | メニュー作りから利用者に参加して頂き配膳、下膳、食器洗い等一緒に行なっています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 利用者様の中で喫煙される方はいませんが、喫煙場所が決まっています。おやつ等も家族が居室に持ち込み一緒に食べられています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|--|------|-----------------------------------|
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 個人記録等に時系列で記録している。パターンを把握し自立に向けトイレ誘導を行なっています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴のスケジュールは有りますが入浴回数や時間帯についてはなるべく利用者の希望に添う様になっています。 | ○ | ディサービス用の入浴も使用し入浴を楽しめる時間にと、考えています。 |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 入居後眠剤や安定剤を中止または、減らす事に成功しています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 過去の生活歴にて大工仕事が好きな方や花の手入れ等好きな事を一緒に行なっています。毎月一回行事としてイベントを行なっています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人が小額ですが持っている方が居ます。管理の難しい利用者は事務所の金庫や銀行へ預けています。 | ○ | 今後も買い物等本人が自らお金を使う場面を支援して行きます。 |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近所のスーパーへ買い物へ行ったり散歩の他にもドライブへ行ったり、同法人のグループホームへ行ったりしています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ご家族と一緒に外食される方が居ます。行事にて外食会としてファミリーレストランへ行ったりしています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話番号を職員がかけ居室にて通話されています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 今までの友人や親戚の方等来訪されて、居室にて楽しいひとときを過ごされています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 管理者が身体拘束廃止専門課程まで修了しており全職員に啓蒙しています。 | ○ | 今後も身体拘束ゼロを行なっていきます。 |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ホールのドアのみオートロックとなっていますが利用者が外へ行きたい時は随時職員と一緒に外へ出る事が出来ます。 | ○ | 出来る限り利用者の自由を尊重して行きたいと思います。 |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 夜間巡回はもちろん日中も各利用者の所在を把握し、見守りを行なっています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 編み物や針仕事が好きな利用者は家族の了解を得て居室でいつでも出来る様にしています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 事故報告書及び、ヒヤリハット報告書にて対策を立てています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | マニュアルも作成してあり、研修計画へ盛り込んでいます。 | ○ | 普通救急救命講習は全職員受講予定です。 |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | マニュアルもあり、消火器を使用しての訓練や避難場所への誘導を確認しています。 | ○ | 利用者参加の避難訓練を実施して |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | キーパーソン以外の家族にも日常生活の状態を説明しております。 | ○ | 今後もコミュニケーションを取り、情報の共有化を図ります。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 異変が見られる時には、すぐに主治医や家族に連絡を取り対応しています。 | ○ | これからも現場での観察力を持ち異変の早期発見に努めます。 |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬剤師のアドバイスや利用者一人一人の服薬について副作用の怖さや、誤薬の防止に努めています。 | ○ | 今後も緊張感を持ちながら業務にあたります。 |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 一日の水分摂取のチェックや体を動かす事の必要性又、食事の内容等気を付けています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 食後3回必ず口腔ケアを実施しております。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|----------------------------------|
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎日の食事量、水分量は記録している体重の変化等にて、必要に応じて主治医の指示を頂いている。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルがあり、職員、利用者はもちろん来訪者の方々にも施設に入られる時は、手洗い、うがいを行なっています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 毎日の掃除と夕食終了後は調理用具の消毒を行なっています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関周りに小人の人形を置いたり玄関の装飾等にて工夫しています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用部については、季節毎に飾りを変えています。利用者が畳みとこたつを希望したので、設置して自由に活用されています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | こたつスペースやソファ等利用者が自由に過されています。 | ○ 今後も継続して行きます。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた物や好みの物の持ち込みをお願いします。居室によっては畳みを敷き布団を敷いて休まれている方もいます。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 各居室や施設すべてに24時間可動の換気扇が回っており、エアコンの温度は常に職員が気にかけて調節しています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | バリアフリーや手すりは設置済みであり、家具等は利用者のADLを考慮して配置してあります。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | トイレの表札や各利用者の居室には、本人の顔写真入りの表札が本人の目線の高さになっており工夫しております。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ベランダは、利用者と一緒に洗濯物干しや行事にて(納涼祭等)自由に活用しています。 | ○ | 今後も継続して行きます。 |

| V. サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の2/3くらいの |
| | | | ③利用者の1/3くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の2/3くらいと |
| | | | ③家族の1/3くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に1回程度 |
| | | | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている |
| | | | ②少しずつ増えている |
| | | | ③あまり増えていない |
| | | | ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ○ | ①ほぼ全ての職員が |
| | | | ②職員の2/3くらいが |
| | | | ③職員の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | | ②家族等の2/3くらいが |
| | | | ③家族等の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・「自分の親を入居希望したくなるホームにしよう」をスローガンに本人本意の生活、毎月季節の行事の開催、職員一人一人がホームを作っていく様に、広報担当、行事担当等全員が役割責任を持ち業務に当たっています。人が当たり前の様に生活する姿から遠ざけない様に（買い物や散歩や床屋に行く等）支援しています。